

令和5年度 第1層協議体 第1回会議 会議録

日 時 令和5年6月30日（金）午後3時～4時40分

場 所 大田原市役所 301会議室

出席委員 11名

内 容

- 1 開会
- 2 委嘱状交付
- 3 あいさつ
- 4 自己紹介
- 5 議題

（1）生活支援体制整備事業のこれまでの経過について【事務局説明】

資料3～5ページの通り、平成28年度から令和4年度までの主な活動の経過について説明を行った。また、資料6ページの通り説明し、第1層協議体と各関係機関との関係性について改めて協議体内部での理解を促した。

【委員からの意見】

特になし。

（2）令和5年度事業計画

①第1層協議体の事業計画について【事務局提案】

資料7～8ページの通り説明を行った。令和5年度事業は「通いの場の立ち上げや運営に関するガイドブックの作成」を成果目標として、以下の通り事業を進めていくこととした。

i) 視察について

令和5年度の視察については、日光市と那須烏山市（1月）を提案。

○日光市（8月）

『地域の居場所ガイドブック』を令和2年3月に発行しており、居場所について地域の居場所の定義や効果、立ち上げのポイント、市内の居場所の所在地など、包括的に情報提供している。

○那須烏山市（2月）

那須烏山市においては厚生労働省の「健康寿命を延ばそうアワード」で厚生労働大臣優秀賞を受賞した「高齢者ふれあいの里」のうち、モデル地区として選ばれた廃校を利用した多機能的（体操教室・地域の茶の間・ふれあいレストラン）な通いの場「向田ふれあいの里」を、市からの実費程度の委託料で地域住民が運営している。

ii) イベントについて

内容としては、11月または12月で、以下の3つを組み合わせることを提案。

- 通いの場事例発表会
- 通いの場で楽しめる料理のレシピ紹介
- 体操やスポーツなど運動機能に関する講座

イベントの主軸として、実践している団体による発表会を実施。併せて管理栄養士による通いの場でおすすめの料理のレシピを紹介や通いの場で実施できる運動に関しての講座を行い、通いの場の活動に広がりを持たせることを目的として実施する。

また、会場はハーモニーホールまたは道の駅「那須与一の郷」にある、「与一伝承館」のホールでの実施を検討したい旨提案。

【委員からの意見】

- ・集客性としては道の駅のほうが良い
- ・デマンドも使えるので良い。
- ・通いの場同士での交流がないとの声があるのでぜひ実施をお願いしたい。
- ・フレイル予防に関する閣議決定の骨子として、口腔ケア・栄養改善が出ているので、レシピ紹介を行う際にはそれを含んでお願いしたい。
- ・タイムテーブルの作成をお願いしたい
- ・体操では与一いきいき体操など実施してもよいと思う。

【結果】

いずれも委員からの承認を受けた。なお、イベントについては詳細を事務局で詰め、今後開催予定の会議において協議することとなった。

②第2層における重点事項について【事務局説明】

資料9ページの通り、令和5年度重点事項の推進について、大田原市社会福祉協議会の業務計画における推進内容を説明。

内容については昨年度に引き続き「ささえ愛サロン等の拡充」、「冊子『近所の通いの場・活動の場』『ちょっと頼みたい有料サービス』の活用」、地域における交流拠点（プラットホーム）設置の検討、「地区社会福祉協議会への支援」の4項目について重点事項とし、今年度も社会福祉協議会と市で連携しながら事業を進めていきたいと考えている旨説明を行った。

(3) アンケート【事務局説明】

第1層協議体の機能として、第2層や地域ケア会議から市域の課題を抽出し検討していく役割がある。第1層協議体委員は専門職や第2層協議体委員など地域との

かかわりが深いメンバーで構成されていることから、各委員が日ごろから地域とのかかわりで感じた課題のうち、市域の課題を提出いただき協議していくことを目的として、資料10～11ページの通りアンケートを実施する。

(4) その他

①与一いきいき体操に音楽をつけることについて【事務局説明】

令和4年度から検討しており、今回は松本副委員長から体操のナレーション付きの曲のたたき台ができたとのことで提供があったため、実際に音楽を流し第1層生活支援コーディネーターが実演。将来的にはラジオ体操のように音楽を聴いて体操ができるよう、映像と組み合わせて作成し普及促進することとした。

②食生活改善推進員について【細井委員長】

食事や栄養を通してフレイル予防を行うために、食生活改善推進員などの既存の組織と地域包括支援センター、社会福祉協議会が連携して実施することが地域づくりのキーワードになるのではないかと考えている。

6 講話

演題 「みんなでなんとかする社会を目指して」

講師 一般社団法人 えんがお 代表 濱野 将行 氏

居場所としてモデルとなる「えんがお」がどのような思いでどのような活動をしているのか、失敗談なども交えて講話いただき、居場所や地域共生社会の考え方について大いに理解を深めた。

7 事務連絡

【事務局から】

次回会議開催予定日 令和5年9月15日（金）15時から

【松本副委員長から】

①冊子「地域の通いの場・活動の場」「ちょっと頼みたい有料サービス」について場所によっては行き渡っていないことが分かってきたため、ケアマネジャー連絡協議会で活用を進めてほしい旨お知らせ願いたい。 → 前沢委員了承。

②那須塩原市の公立公民館でやっていた、食用油の廃油の活用を、第1層と第2層が協力して実施して欲しい。 → 検討する。

8 閉会